

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
2008年度秋季学術大会（第129回）
プログラムおよび講演抄録集

2008年11月6日（木），11月7日（金）
富山市 富山国際会議場（大手町フォーラム）



■ 会場へのご案内 ■

●飛行機をご利用の場合



- ・東京（羽田空港）から 60分（全日空）
- ・札幌（新千歳空港）から 80分（全日空）

●鉄道をご利用の場合



- ・東京から 3時間 00分（上越新幹線（越後湯沢乗換）北陸本線経由）
- ・名古屋から 3時間 30分（北陸本線経由）
- ・大阪から 3時間 05分（湖西線・北陸本線経由）



富山空港行き連絡バス停 ●市電のりば

- ・JR富山駅よりバスで約5分/城址公園前下車 徒歩3分
- ・JR富山駅より市内電車で約5分/丸の内下車 徒歩3分
- ・JR富山駅より徒歩で約15分
- ・富山空港よりタクシーで約20分
- ・富山空港より空港連絡バスで約25分/総曲輪下車 徒歩2分
- ・北陸自動車道、富山ICから約15分

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

2008 年度秋季学術大会（第 129 回）

プログラムおよび講演抄録集

会 期：2008 年 11 月 6 日（木） 9：00～19：00
11 月 7 日（金） 9：00～16：10

学会会場：富山国際会議場（大手町フォーラム）
〒930-0084 富山市大手町 1 番 2 号
TEL：076-424-5931 FAX：076-493-7170

日本歯科保存学会 HP：http://www.hozon.or.jp
学術大会 HP：http://kokuhoken.or.jp/jscd129/

A 会 場：3F メインホール
B 会 場：2F 202～204
ポスター会場：3F ホワイエ
企業展示：2F 201, 3F ホワイエ

学術大会に参加される方へ、お知らせとお願い

◆今回の学術大会では、講演会場が A 会場（3F メインホール）、B 会場（2F 202～204）の 2 会場、また、ポスター会場は 3F ホワイエとなっております。

◆会場のご案内

11 月 6 日（木）

開会の辞	: A 会場（9：00～9：10）
研究発表（口演）：A1～15	: A 会場（9：10～12：00）
: B1～15	: B 会場（9：10～12：00）
臨時評議員会・臨時総会・授賞式	: A 会場（12：00～12：30）
研究発表（ポスター）：P1～70	: ポスター会場（13：00～14：00）
シンポジウム	: A 会場（14：00～16：30）
認定研修会	: A 会場（16：40～17：30）
外国招聘者を囲むセミナー	: B 会場（18：00～19：00）
PC 受付・試写	: 2F ホワイエ（8：30～16：30）
企業展示	: 2F 201・3F ホワイエ（9：00～17：00）

11 月 7 日（金）

研究発表（口演）：A16～20	: A 会場（9：00～9：50）
: B16～20	: B 会場（9：00～9：50）
特別講演	: A 会場（10：00～11：00）
研究発表（口演）：A21～25	: A 会場（11：10～12：00）
: B21～25	: B 会場（11：10～12：00）
編集連絡委員会	: B 会場（12：00～13：00）
研究発表（ポスター）：P71～143	: ポスター会場（13：00～14：00）
研究発表（口演）：A26～30	: A 会場（14：00～14：50）
: B26～30	: B 会場（14：00～14：50）
臨床セッション：S1～5	: A 会場（15：00～16：00）
PC 受付・試写	: 2F ホワイエ（8：30～15：00）
企業展示	: 2F 201・3F ホワイエ（9：00～16：00）
閉会の辞	: A 会場（16：00～16：10）

11 月 6, 7 日の両日

来賓・講師控室	: 2F 応接室
理事控室	: 2F 特別会議室
クローク	: 2F 205
学術大会本部	: 2F 206

◆受付は 11 月 6 日、7 日ともに 8：30 から富山国際会議場 1F エントランスホールにて行います。事前登録がお済みの方は、事前登録受付にお立寄りください。

当日登録の方は、受付に用意されている用紙に氏名と所属をご記入の上、受付にて登録を行ってください（当日登録：10,000 円）。

口演発表者へのお願い

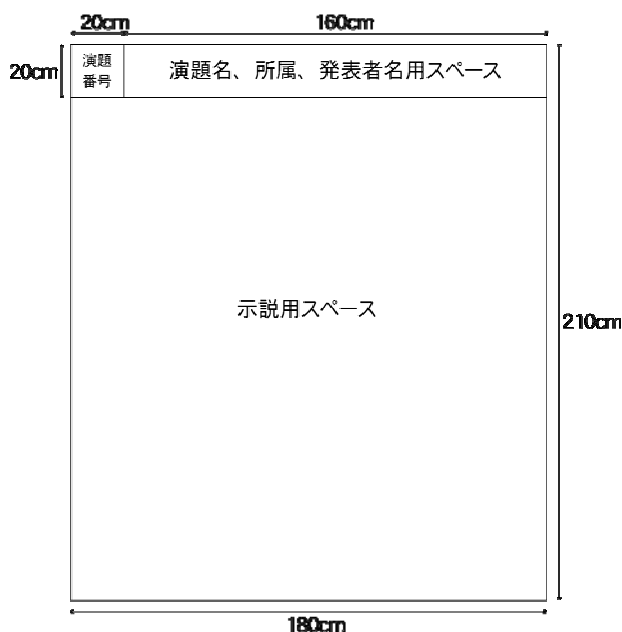
- ◆口演時間は、一般演題・臨床セッションともに8分です。また、質疑応答は2分です。発言は座長の指示に従ってください。口演に使用できるプロジェクターは1台となっております。
- ◆当日お持ちいただいたデータ（メディアはUSBフラッシュメモリかCD-ROMのいずれか一方をご用意ください）のPC試写は以下の時間で可能です。2日目に口演される発表者が、前日に受付することも可能です。

・PC試写時間

11月6日（木）8：30～16：30、11月7日（金）8：30～15：00

ポスター発表者へのお願い

- ◆ポスター発表は11月6日（木）、7日（金）の両日、ポスター会場にて行います。
- ◆ポスターパネルは、掲示可能なスペースが横180cm、縦210cmで、そのうち最上段の縦20cmは演題名等用のスペースとし、本文の示説用スペースは横180cm、縦190cmとします。
- ◆最上段左側の横20cm、縦20cmは演題番号用スペースで、演題番号は準備委員会が用意します。
- ◆最上段右側の横160cm、縦20cmのスペースに、演題名、所属、発表者名を表示してください。なお演題名の文字は、1文字4cm平方以上の大きさとします。また共同発表の場合、発表代表者の前に○印を付けてください。
- ◆ポスター余白の見やすい位置に、発表代表者が容易にわかるように手札判程度の大きさの顔写真を掲示してください。
- ◆ポスターには研究目的、材料および方法、成績、考察、結論（症例報告の場合は、緒言、症例、経過、予後、考察、結論）など簡潔に記載してください。また、図や表を多用し、見やすいようにお願いします。なお、本文は3mの距離から明瞭に読めるようにしてください。
- ◆ポスターの準備は、11月6日（木）、7日（金）ともに9：00～10：00に行ってください。掲示には押しピンをご使用ください。なお、押しピンは発表者でご準備ください。
- ◆ポスター発表および質疑応答は、11月6日（木）、7日（金）ともに13：00～14：00に行います。その間、発表者はポスター前に立って自由に討論を行ってください。
- ◆ポスターの撤去は11月6日（木）は16：00～16：40、7日（金）は15：30～16：20に行ってください。



座長先生へのお願い

- ◆口演における次座長の先生は、15 分前までに、次座長席にご着席ください。

理事，評議員，編集連絡委員，一般会員へのお知らせ

- ◆臨時評議員会・臨時総会・授賞式は 11 月 6 日（木）12：00～12：30 に A 会場にて行います。
- ◆編集連絡委員会は 11 月 7 日（金）12：00～13：00 に B 会場にて行います。
- ◆理事，評議員の先生は，デンツプライ賞の投票にご協力くださいますようお願い申し上げます。
なお，投票用紙の受け取り，投票は学会事務局受付にて行います。

企業展示のお知らせ

- ◆協賛各社による企業展示を，展示会場（2F 201・3F ホワイエ）にて行います。展示時間は，11 月 6 日（木）9：00～17：00，11 月 7 日（金）9：00～16：00 です。

【会場案内図】

1F

- ・総合受付 ◇エントランスホール
- ・*参加登録受付 *新入会・年会費納入受付

2F

- ・B会場 ◇202～204
- ・*研究発表（6日，7日・口演） *外国招聘者を囲むセミナー（6日）
- ・*編集連絡委員会（7日）
- ・企業展示（6日，7日） ◇201
- ・クローク（6日，7日） ◇205
- ・理事控室（6日，7日） ◇特別会議室
- ・来賓・講師控室（6日，7日） ◇応接室
- ・大会本部（6日，7日） ◇206

3F

- ・A会場 ◇メインホール
- ・*開会式（6日） *シンポジウム（6日） *認定研修会（6日）
- ・*臨時評議員会・臨時総会・授賞式（6日） *特別講演（7日） *臨床セッション（7日）
- ・*研究発表（6日，7日・口演） *閉会式（7日）
- ・企業展示（6日，7日） ◇ホワイエ
- ・ポスター会場（6日，7日） ◇ホワイエ

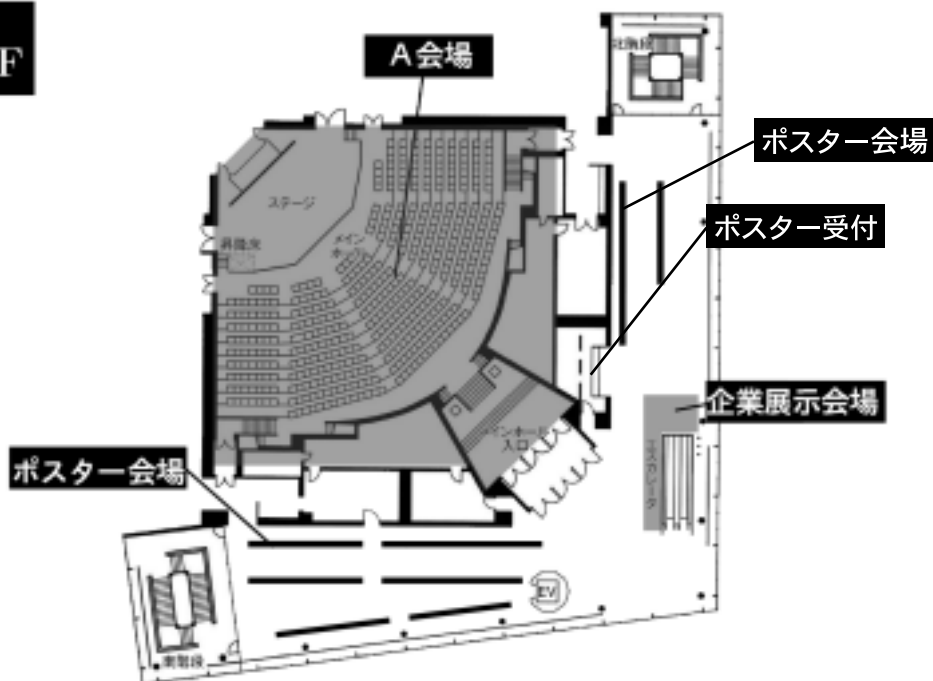
1F



2F



3F



学会スケジュール 第1日 11月6日(木)

時間	受付 (1F エントランス)	A 会場 (3F メインホール)	B 会場 (2F 202～204)	ポスター会場 (3F ホワイエ)	展示会場 (2F 201, 3F ホワイエ)		
8：30	受付開始						
9：00		開会の辞		9：00～10：00 ポスター準備	9：00～17：00 企業展示		
		A 1	B 1				
		A 2	B 2				
		A 3	B 3				
		A 4	B 4				
		A 5	B 5				
10：00		休憩		10：00～13：00 ポスター掲示			
		A 6	B 6				
		A 7	B 7				
		A 8	B 8				
		A 9	B 9				
		A10	B10				
11：00		休憩					
		A11	B11				
		A12	B12				
		A13	B13				
		A14	B14				
		A15	B15				
12：00		12：00～12：30 臨時評議員会・ 臨時総会・授賞式					
		12：30～13：00 昼食・休憩					
13：00				13：00～14：00 ポスター発表			
14：00		14：00～16：30 シンポジウム		14：00～16：00 ポスター掲示			
15：00							
16：00				16：00～16：40 ポスター撤去			
	受付終了	休憩					
		16：40～17：30 認定研修会					
17：00							
18：00			18：00～19：00 外国招聘者を 囲むセミナー				

学会スケジュール 第2日 11月7日(金)

時間	受付 (1F エントランス)	A 会場 (3F メインホール)	B 会場 (2F 202～204)	ポスター会場 (3F ホワイエ)	展示会場 (2F 201, 3F ホワイエ)
8：30	受付開始				
9：00		A16 A17 A18 A19 A20	B16 B17 B18 B19 B20	9：00～10：00 ポスター準備	9：00～16：00 企業展示
		休憩			
10：00		10：00～11：00 特別講演		10：00～13：00 ポスター掲示	
11：00		休憩			
		A21 A22 A23 A24 A25	B21 B22 B23 B24 B25		
12：00		12：00～13：00 昼食・休憩	12：00～13：00 編集連絡委員会		
13：00				13：00～14：00 ポスター発表	
14：00		A26 A27 A28 A29 A30	B26 B27 B28 B29 B30	14：00～15：30 ポスター掲示	
		休憩			
15：00	受付終了	15：00～16：00 臨床セッション		15：30～16：20 ポスター撤去	
16：00		閉会の辞			

特別講演

研修コード【0412】

講演名：Advances in Adhesive Dentistry

日 時：平成 20 年 11 月 7 日（金）
10 時 00 分～11 時 00 分

会 場：A 会場（3F メインホール）

座 長：千田 彰 教授
（愛知学院大学歯学部保存修復学講座）

演 者：Dr. M. Suzuki, DDS, MS, DMD, FACD, FICD
（Former Professor and Head, Department of Restorative Dentistry,
The University of Manitoba and the University of Western Ontario, Canada）



演者略歴

Dr. Suzuki is a former Professor and Head of Department of Restorative Dentistry at The University of Manitoba, Canada. He is a graduate of Tokyo Dental College, The University of Rochester, New York and The University of Manitoba.

He taught Restorative Dentistry at The University of Western Ontario for more than 20 years and recruited to The University of Manitoba in 1991.

He received a highest honor from The Chilean Dental Association in October, 1996 and the Alumni Distinction Award from The University of Manitoba in January, 2001. He is a Life member of Canadian Dental Association, Canadian Academy of Restorative Dentistry and Prosthodontics, The Academy of Operative Dentistry, The International Association of Dental Research among others.

He is the Fellow of the American College of Dentist, Life Fellow and International Councilman of the International College of Dentist in which he served President during 2006-2007.

Dr. Suzuki has numerous publications in the area of Biomaterial Science and Clinical Trials and has lectured extensively worldwide.

シンポジウム

研修コード【1001】

保存治療へのレーザー応用の現状と展望

日 時：平成 20 年 11 月 6 日（木）

14 時 00 分～16 時 30 分

会 場：A 会場（3F メインホール）

座 長：田上 順次 教授

（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食機能保存学講座
う蝕制御学分野）

講演 1：Laser Use in Operative and Preventive Dentistry

演 者：Prof. John D. B. Featherstone, MSc, PhD

（Professor of Preventive and Restorative Dental Sciences
at the University of California, San Francisco, USA）

演者略歴

Dr. John Featherstone is Professor of Preventive and Restorative Dental Sciences at the University of California, San Francisco (UCSF) and Interim Dean of the School of Dentistry. He holds a Ph. D. in chemistry from the University of Wellington (New Zealand). His research over the past 33 years has covered several aspects of cariology (study of tooth decay) including fluoride mechanisms of action, caries risk assessment, de- and remineralization of the teeth, apatite chemistry, salivary dysfunction, caries prevention, and laser effects on dental hard tissues. He has been received numerous National and International awards, most recently the Norton Ross Award for excellence in clinical research from the American Dental Association (2007). He has published over 200 papers.



講演 2：歯内療法におけるレーザー応用

演 者：海老原 新 先生

（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食機能保存学講座
歯髓生物学分野）

演者略歴

昭和 61 年 東京医科歯科大学歯学部卒業
平成 2 年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科博士課程修了
平成 2 年 東京医科歯科大学歯学部附属病院医員
平成 3 年 日本学術振興会特別研究員
平成 5 年 東京医科歯科大学歯学部歯科保存学第三講座助手



平成 11 年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯髓生物学分野助手
10 月より文部省在外研究員（米国カリフォルニア大学アーバイン校ベックマンレーザー研究所留学，平成 13 年 2 月まで）
平成 19 年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯髓生物学分野助教
学会等活動：日本歯科保存学会，日本レーザー歯学会（評議員・指導医・認定医），日本レーザー医学会，日本歯内療法学会，口腔病学会，米国歯内療法学会：AAE 等

講演 3：Fluorescence-Guided Er: YAG Laser Compared to Mechanical Scaling in the Treatment of Chronic Periodontitis

演 者：Dr. Jonathan Wade Leichter
(Senior Lecturer in the Department of Oral Sciences
at the University of Otago)

演者略歴

Dr. Leichter is currently Senior Lecturer in the Department of Oral Sciences at the University of Otago. Dr. Leichter joined the faculty after 20 years in full time private practice in New York and Boston, 18 of which were spent in specialist practice limited to periodontology and implant dentistry. Trained at Tufts University and obtaining his specialist training at Harvard University, he has been actively involved in clinical dental implant practice since 1984. Since 2002 he has supervised and mentored post graduate students in periodontology, endodontics and prosthodontics. His research interests and publications are in the field of periodontology, dental trauma and laser applications in dentistry.



認定研修会

研修コード【0501】

講演名：歯科保存治療専門医に必要な歯周基本治療のテクニック

日 時：平成 20 年 11 月 6 日（木）
16 時 40 分～17 時 30 分

会 場：A 会場（3F メインホール）

座 長：中村 洋 教授
（愛知学院大学歯学部歯内治療学講座）

演 者：沼部 幸博 教授
（日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座）



演者略歴

1983 年 日本歯科大学歯学部卒業
日本歯科大学大学院入学（歯周病学専攻）
1987 年 日本歯科大学大学院修了（歯学博士）
日本歯科大学歯学部歯周病学教室 助手
1989 年 日本歯科大学歯学部歯周病学教室 専任講師
カリフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF）歯学部 客員講師
1993 年 日本歯科大学歯学部歯周病学教室 助教授
2005 年 日本歯科大学歯学部歯周病学講座 主任教授
2006 年 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座 主任教授（所属名変更）

学会等活動

日本歯科保存学会理事・保存治療認定医（指導医）
日本歯周病学会理事・歯周病専門医（指導医）

外国招聘者を囲むセミナー

研修コード【0412】

講演名：臼歯審美修復—直接法か間接法か—

日 時：平成 20 年 11 月 6 日（木）
18 時 00 分～19 時 00 分

会 場：B 会場（202～204）

演 者：Dr. M. Suzuki, DDS, MS, DMD, FACD, FICD
(Former Professor and Head, Department of Restorative Dentistry,
The University Manitoba and the University of Western Ontario, Canada)

特定非営利活動法人

日本歯科保存学会 2008 年度秋季学術大会（第 129 回）プログラム

演題の読み方：上段；A は A 会場（3F メインホール）、B は B 会場（2 F 202～204）、P はポスター会場（3F ホワイエ）を示し、次の 1～3 桁は演題番号、下 4 桁は口演開始時刻、（ ）内は分野、下段は日本歯科医師会生涯研修個人カードの研修コードを示します。

（例）上段 A1-0910.（修復） → A 会場、演題番号 1 番、午前 9 時 10 分、修復分野

下段 【0901】 → 研修項目 IX-1-1） 齲蝕

第 1 日目 11 月 6 日（木） A 会場（3F メインホール）

9：00～9：10 開会の辞……………特定非営利活動法人 日本歯科保存学会秋季学術大会

大会長 千 田 彰

理事長挨拶……………特定非営利活動法人 日本歯科保存学会理事長 須 田 英 明

9：10～10：00 研究発表

座 長 小 松 正 志（東北大院歯）

A1-0910.（修復） 垂直歯根破折歯の接着再植法に関する研究

【0413】 —接着時の条件が接着強さに及ぼす影響について—

……………○恩田康平，初岡昌憲，鈴木康一郎，川本雅行，坂中幸誠，
加茂野太郎，山本一世（大歯大・保存）

A2-0920.（修復） ビーム状試料の断面積が微小引張り接着強さに及ぼす影響

【0413】 ……………○山田 正，原 学，長谷川 充，貴美島 哲，柵木寿男，長倉弥生，
久保田賢一，奈良陽一郎，勝海一郎（日歯大・保存）

A3-0930.（修復） G-BOND の接着性の改良に関する研究

【0413】 ……………○宇野 滋，森上 誠，杉崎順平，山田敏元（虎の門病院・歯科）

座 長 山 本 一 世（大歯大）

A4-0940.（修復） コンポジットレジンの種類がセルフエッチシステムの歯質接着性に及ぼす影響

【0413】 ……………○高見澤俊樹，安藤 進，宮崎真至（日大歯・保存修復，生体工学研究部門）
辻本暁正，山本 明，渡邊孝行，吉田武史（日大歯・保存修復）
長谷川 賢（刀圭会協立病院）

A5-0950.（修復） カリソルブ処理後の接着性に対する再評価

【0403】 ……………○山田嘉重，真鍋厚史，増田宜子，那須裕弥，清水由子，久光 久，
松本光吉（昭大歯・齲蝕歯内）

10：00～10：10 休憩

10：10～11：00 研究発表

座 長 桃 井 保 子 (鶴大歯)

- A6-1010. (修復) 耐水性と耐摩耗性に優れたコンポジットレジンの開発について
 【1002】 ー疎水性シランカップリング剤の効果ー
 ○二瓶智太郎, 大橋 桂, 森 梨江, 寺中敏夫 (神歯大・保存)
 クンツェルマン・カール・ハインツ (ミュンヘン大歯)
 近藤行成, 好野則夫 (東京理大・工業化学)
- A7-1020. (修復) MI ペーストのフッ化物添加が歯質の再石灰に及ぼす影響
 【0901】○川本 諒, 利根川雅佳, 島村 穰, 田久保周子, 山口佳奈子 (日大歯・保存修復)
 瀧川智義, 宮崎真至 (日大歯・保存修復, 生体工学研究部門)
 青島 裕 (青島歯科医院)
- A8-1030. (修復) 炎症性刺激を受けた細胞への Heal Ozone の影響
 【1001】○可知華子, 小松久憲, 佐野英彦 (北大院歯・修復・歯内)
 野田 守 (北大病院・歯科診療センター)
 嶺崎美花 (たけさき歯科医院)

座 長 奈 良 陽一郎 (日歯大)

- A9-1040. (修復) 可視光応答型酸化チタン光触媒含有の漂白材 (GC TiON in office) の漂白効果に関する研究
 【0414】○大槻昌幸, 岸 綾香, 田上順次 (東医歯大院・う蝕制御)
- A10-1050. (修復) 歯科における切削騒音低減デバイス開発のための音質解析
 【0404】○山田朋美, 恵比須繁之 (阪大院歯・感染制御 (保存))
 桑野園子 (阪大院・人間科学研究科)

11:00~11:10 休憩

11:10~12:00 研究発表

座 長 高 柴 正 悟 (岡大院医歯薬)

- A11-1110. (歯周) 歯根膜特異的 Periostin アイソフォームは歯根膜細胞の硬組織形成分化を促進する
 【0501】○田内拓史, 山田 聡, 前田憲一郎, 藤原千春, 梶川哲宏, 岩山智明, 小澤康宏,
 柳田 学, 橋川智子, 北村正博, 村上伸也 (阪大院歯・免疫制御 (治療))
- A12-1120. (歯周) 歯肉縁下プラークの Toll-like receptor (TLR) 2 および TLR4 刺激作用と
 【0599】 歯周病臨床パラメーターの関連性について
○吉村篤利, 吉岡英将, 山口竜亮, 金子高士, 原 宜興 (長大院医歯薬・歯周)

座 長 申 基 詰 (明海大歯)

- A13-1130. (歯周) 2 型糖尿病が実験的歯周炎による骨破壊に与える影響
 【0501】○仲西慶浩, 莊司佳奈子, 後藤良介, 島内英俊 (東北大院歯・歯内歯周)
- A14-1140. (歯周) 半月状歯肉弁歯冠側移動術後治癒の組織学的評価
 【0502】○半田良平, 齋藤 彰, 齋藤恵美子, 原橋宏幸, 川浪雅光 (北大院歯・歯周・歯内)
 本間義幸 (北大院歯・学術支援部)
- A15-1150. (歯周) 侵襲性歯周炎歯肉組織におけるコルチゾールと細胞接着装置構成タンパクの局在
 【0501】○林田浩一 (広大院医歯薬・歯周病態, 広大病院・障害者歯科)
 常国徳子, 加治屋幹人, 藤田 剛, 柴 秀樹, 内田雄士, 吉野 宏,
 河口浩之, 栗原英見 (広大院医歯薬・歯周病態)

12：00～12：30 臨時評議員会・臨時総会・授賞式
12：30～13：00 昼食・休憩
13：00～14：00 ポスター発表（ポスター会場にて）
14：00～16：30 シンポジウム
16：30～16：40 休憩
16：40～17：30 認定研修会
18：00～19：00 外国招聘者を囲むセミナー（B 会場にて）

第1日目 11月6日(木) B会場(2F 202~204)

9:10~10:00 研究発表

座長 村上伸也(阪大院歯)

- B1-0910. (歯周) 脳由来神経栄養因子(BDNF)は血管内皮細胞の遊走を促進する
【0501】○松田真司, 藤田 剛, 加治屋幹人, 武田克浩, 柴 秀樹,
河口浩之(広大院医歯薬・歯周病態)
辻 紘一郎((株) ツーセル)
栗原英見(広大院医歯薬・歯周病態, (株) ツーセル)

- B2-0920. (歯周) 口臭物質はヒト歯肉線維芽細胞にアポトーシスを誘導する
【1199】○藤村麻衣子, 和泉雄一(東医歯大院・歯周病)

- B3-0930. (歯周) 培養ヒト歯根膜由来上皮細胞および線維芽細胞間における
【0501】 Bone sialoprotein および Matrix metalloproteinase-2 の発現
.....○下西 充, 遠藤直樹, 齋藤 修, 菊池雅彦
(東北大病院・歯科医療センター総合歯科診療部)
小松正志(東北大院歯・保存)

座長 栗原英見(広大院医歯薬)

- B4-0940. (歯周) 新規歯小嚢マーカー分子, F-spondin の培養ヒト歯根膜細胞を用いた機能解析
【0501】○西田英作, 吉成伸夫(松歯大・保存I)
齋藤正寛(阪大院歯・生化学)

- B5-0950. (歯周) 歯根膜細胞における PGE₂ による VEGF 産生に関する研究
【1107】○坂東由記子, 小林宏明, 和泉雄一(東医歯大院・歯周病)
野口和行(鹿大院医歯・歯周病態)

10:00~10:10 休憩

10:10~11:00 研究発表

座長 島内英俊(東北大院歯)

- B6-1010. (歯内) *Tannerella forsythensis* レスポンスレギュレーター変異株のプロテオーム解析
【1199】○丹羽大介(愛院大歯・歯内治療, 微生物)
西川 清(愛院大歯・微生物)
中村 洋(愛院大歯・歯内治療)

- B7-1020. (歯内) MTA はヒト歯根膜細胞の BMP2 発現を誘導する
【1003】○前田英史, 友清 淳, 藤井慎介, 島 一也(九大病院・歯内治療科)
中野嗣久, 門野内 聡, 堀 清美(九大院歯・口腔機能(歯内))
和田尚久(University of Adelaide, Colgate Australian Clinical Dental Research Centre)
赤峰昭文(九大病院・歯内治療科, 九大院歯・口腔機能(歯内))

- B8-1030. (歯内) 培養ヒト歯根膜細胞におけるプロテアーゼ受容体 PARs (protease-activated receptors) の
【0401】 発現について
.....○室町幸一郎, 神尾直人, 橋爪英城, 山浦賀弘, 松島 潔(日大松戸歯・歯内)
中尾寿美(日大松戸歯・口腔分子薬理)

座 長 木 村 裕 一 (奥羽大歯)

- B9-1040. (歯内) テオフィリンはラット歯髄刺激に対する海馬血流増加反応を抑制する
【1106】 ……○長谷川誠実, 阿部徹也, 本田公亮, 清水明彦 (兵庫医大・歯科口腔外科)
秦 順一 (兵庫医大・医系物理化学)
- B10-1050. (歯内) 歯髄の mustard oil 刺激により誘発されたラット脳幹における p38MAPK 及び GFAP の
【1106】 アップレギュレーション
…○砂川光宏 (東医歯大病院・総合診療科クリーンルーム歯科外来, 東医歯大院・歯髄生物)
金子友厚, 金子実弘, 須田英明 (東医歯大院・歯髄生物)

11:00~11:10 休憩

11:10~12:00 研究発表

座 長 小 木 曾 文 内 (日大歯)

- B11-1110. (歯内) 乳歯由来歯髄細胞は血管新生・神経再生を促進する
【1003】 ……○庵原耕一郎, 松下健二, 中島美砂子 (国立長寿医療センター研究所・口腔疾患研究部)
杉山昌彦 (国立長寿医療センター研究所・口腔疾患研究部, 名大院医・顎顔面外科)
中村さやか, 上田 実 (名大院医・顎顔面外科)
山田陽一 (名大医病院・遺伝子・再生医療センター)
中村 洋 (愛院大歯・歯内治療)
- B12-1120. (歯内) ヒト乳歯歯髄由来幹細胞の特性の検討
【0409】 ……○中村さやか, 片桐 渉, 杉戸孝行, 上田 実 (名大院医・顎顔面外科)
山田陽一 (名大医病院・遺伝子・再生医療センター)
伊藤憲治 (名大医・臨床細胞治療)
- B13-1130. (歯内) ヒト歯髄細胞における細胞外 Ca^{2+} 刺激による bone morphogenetic protein-2 発現誘導
【0499】 ……○濱地 希, 金谷聡介, 根本英二, 島内英俊 (東北大院歯・歯内歯周)

座 長 中 村 幸 生 (明海大歯)

- B14-1140. (歯内) ヒト歯髄培養細胞における酸化ストレスからのアポトーシス誘導
【0401】 ……○松井 智, 高橋知多香, 高瀬俊彦, 辻本恭久, 松島 潔 (日大松戸歯・歯内)
- B15-1150. (歯内) 抗菌ペプチド LL37 はヒト歯髄細胞の migration を促進する
【0409】 ……○加治屋幹人, 柴 秀樹, 藤田 剛, 武田克浩, 内田雄士, 水野智仁,
河口浩之, 栗原英見 (広大院医歯薬・歯周病態)

12:00~12:30 臨時評議員会・臨時総会・授賞式 (A 会場にて)

12:30~13:00 昼食・休憩

13:00~14:00 ポスター発表 (ポスター会場にて)

14:00~16:30 シンポジウム (A 会場にて)

16:30~16:40 休憩

16:40~17:30 認定研修会 (A 会場にて)

18:00~19:00 外国招聘者を囲むセミナー

第 1 日目 11 月 6 日 (木) ポスター会場 (3F ホワイエ)

9:00~10:00 ポスター準備

10:00~13:00 ポスター掲示

13:00~14:00 ポスター発表

14:00~16:00 ポスター掲示

16:00~16:40 ポスター撤去

- P1. (修復) 齲蝕原因菌に対するデルフィニジン型アントシアニンの抗菌効果
【0901】 ……………○三田 肇, 鈴木英明, 水野恭子, 並木泰次, 池見宅司 (日大松戸歯・う蝕審美)
- P2. (修復) 各種市販洗口液の殺菌効果およびキシリトール洗口液の有用性
【0901】 ……………○川守田 暢, 安田善之, 立松祐哉, 新田 督,
犬山秀正, 斎藤隆史 (北医大歯・う蝕制御)
- P3. (修復) 象牙質マトリクスコラーゲンのペプシン消化におよぼす加齢の影響
【0899】 ……………○田村友寛, 礪波健一 (東医歯大病院・歯科総合診療部)
梅森 幸, 佐野和信 (東医歯大院・総合診療)
保木志朗 (東医歯大院・歯科医療行動科学)
荒木孝二 (東医歯大・医歯学教育システム研究センター)
- P4. (修復) S-PRG フィラー溶出液が象牙質再石灰化に与える影響
【1002】 ……………○伊藤修一, 塚本尚弘, 斎藤隆史 (北医大歯・う蝕制御)
- P5. (修復) チューインガム咀嚼後に生じるエナメル質再石灰化部の亜鉛濃度:
【0499】 放射光による蛍光 X 線分析 ……○松永常典, 石崎秀隆, 林 善彦 (長大院医歯薬・齲蝕)
- P6. (修復) ウレタンアクリレートポリマーの細胞毒性と口腔粘膜刺激性
【1002】 ……………○富田浩一, 徳田雅行, 梶原武弘, 鳥居光男 (鹿大院医歯・修復歯内)
蟹江隆人 (鹿大院医歯・歯科生体材料)
- P7. (修復) エステニア C & B/ジャケットオペーク二層構造体の曲げ特性と臨床応用
【1002】 ……………○笹崎弘己, 小松正志 (東北大院歯・保存)
友田浩三 (東北大歯・技工士学校)
- P8. (修復) 洗口剤によるコンポジットレジン表面性状への影響
【0412】 ……………○増山知之, 久保田 稔 (岩医大歯・保存 I)
根津尚史 (岩医大歯・歯科理工)
- P9. (修復) 光重合型コンポジットレジンのインサイザルシェードの色について
【1002】 ……………○小澤有美, 廣瀬直子, 加藤高士, 市村 葉, 片山 直 (明海大歯・保存修復)
- P10. (修復) 積層充填によるコンポジットレジンの色について
【1002】 ……………○逸見恵里, 村井宏隆, 中村英世, 石原祥世, 片山 直 (明海大歯・保存修復)
- P11. (修復) 新規歯面コーティング材の経時的口腔内変化
【0414】 一色調変化とチッピングの頻度—
……………○小林千夏, 竹中彰治, 若松里佳, 韓 臨麟, 興地隆史 (新大院医歯・う蝕)
福島正義 (新大歯・口腔生命福祉学科)
- P12. (修復) 歯面処理材及び歯面コート材が KTP レーザーを用いた漂白エナメル質表面に及ぼす影響
【0409】 ……○森川長志, 増田宜子, 木下潤一郎, 東光照夫, 久光 久, 松本光吉 (昭大歯・齲蝕歯内)
- P13. (修復) フッ化ジアンミン銀による着色歯に対し, 保存的に審美性を改善した症例
【0414】 ……………○稲葉友良 (稲葉歯科医院, 日歯大新潟・保存 II)
加藤千景, 鈴木雅也, 新海航一, 加藤喜郎 (日歯大新潟・保存 II)

- P14. (修復) 臨床使用条件がオフィスホワイトニング効果に及ぼす影響
 【0414】 ……○飯田麻理子, 近藤愛恵, 清水園子, 大森かをる, 桃井保子 (鶴大歯・保存Ⅰ)
- P15. (修復) オフィスブリーチング材によるエナメル質漂白後の色彩学的分析
 【0414】 ……○藤本将幸, 堀田正人, 小竹宏朋, 作 誠太郎, 山本宏治 (朝日大歯・口腔機能 (修復))
- P16. (修復) ホワイトニング剤が修復物の機械的性質に及ぼす影響
 【0414】 ……○加藤亜樹, 安田源沢, 植草智史, 井上直樹, 田村ゆきえ (日大歯・保存修復)
 黒川弘康, 宮崎真至 (日大歯・保存修復, 生体工学研究部門)
 穴田直仁 (穴田歯科医院)
- P17. (歯周) トレー法を併用したアスコルビン酸誘導体含有ジェルによる歯肉メラニン色素沈着改善効果の検討
 【0599】 ……○鈴木育世, 島田靖子, 長谷川麻衣子, 吉江弘正 (新大院歯歯・歯周)
 田井秀明 (新大院歯歯・歯周, 田井デンタルクリニック)
- P18. (その他) 弱酸性次亜塩素酸水溶液を用いた試作漂白材の開発に関する研究
 【0414】 ……○西村知子, 青柳佳伸, 石井信之 (神歯大・歯内)
 岡田周策, 寺中敏夫 (神歯大・保存)
- P19. (修復) 感染防止のための光照射器先端被覆材が照射光量ならびにコンポジットレジン象牙質への
 【0413】 接着強さに与える影響
 ……○遠藤達雄, 安倍 敏, 笹崎弘己, 小松正志 (東北大院歯・保存)
- P20. (修復) 塩化カルシウム, 象牙質マトリックスタンパク質 (DMP1) 由来合成ペプチド (pA, pB)
 【0413】 ならびにハイドロキシアパタイト配合接着性レジンシステムの象牙質接着強さに関する検討
 ……○平 賢久 (日歯大院新潟・硬組織機能治療)
 新海航一, 鈴木雅也, 加藤千景, 加藤喜郎 (日歯大院新潟・保存Ⅱ)
- P21. (修復) LED 照射器の照射時間についての多角的評価
 【0412】 ……○池島 巖, 宮内貴弘, 萩原慎之輔, 松澤紀彦, 桃井保子 (鶴大歯・保存Ⅰ)
- P22. (修復) デジタル画像を用いた咬合面う蝕診断—口腔内カメラ Penscope の応用—
 【0202】 ……○梅森 幸 (東医歯大院・総合診療)
 礪波健一 (東医歯大病院・歯科総合診療部)
 新田 浩, 俣木志朗 (東医歯大院・歯科医療行動科学)
 荒木孝二 (東医歯大・医歯学教育システム研究センター)
- P23. (歯内) 骨内インプラントにおけるスクリーホール内の細菌叢
 【0603】 ……○渡邊浩章, 藤井理絵, 山口透子, 井原郁夫, 浅井知宏, 中川寛一 (東歯大・歯内)
- P24. (歯内) マイクロ CT を用いた日本人上顎第一大臼歯口蓋根管の三次元的解析
 【1101】 ……○柏木 勢, 山田雅司, 石川智子, 加藤広之, 中川寛一 (東歯大・歯内)
 井出吉信 (東歯大・解剖)
- P25. (歯内) 根尖部における歯根と根管の形態 (第 7 報) 上顎小白歯
 【0401】 ……○山口祐美, 前田美樹, 内山真紀子, 山田博仁, 安西正明,
 山本昭夫, 笠原悦男 (松歯大・保存Ⅱ)
- P26. (歯内) ヒト抜去歯を用いた PROTAPER による根管拡大のマイクロ X 線CT 評価
 【0410】 一根尖部での拡大の様相を中心に—
 ……○江面 晃, 貝津 徹 (日歯大院新潟・総合診療)

- P27. (歯内) プロテーパーによる彎曲根管形成と根管壁変位量に関する研究
 【0410】 ……………○上田剛史, 上島茂明, 榎本光夫, 大浜美穂, 荻野志保, 徳永幸世,
 平嶺倫子, 永井旺介, 石井信之 (神歯大・歯内)
 長谷 徹 (湘南短大・歯科衛生)
- P28. (歯内) コスモ i キュアによる根尖到達度測定のマイクロ CT による評価
 【0410】 ……………○貝津 徹, 馬場玲子, 坂井 登, 江面 晃 (日歯大新潟・総合診療)
- P29. (歯内) 試作超音波レトロチップの有用性に関する基礎的研究
 【0410】 ……………○稲本雄之, 馬場忠彦, 林 宏行 (大歯大・口腔治療)
- P30. (歯内) 血液汚染された歯質に対する逆根管充填材の種類による辺縁封鎖性
 【0411】 ……………○西谷知子, 内山敏一, 河野哲朗, 田名網宏樹, 染井千佳子, 菊地信之, 牧村英樹
 長濱文雄, 和田守康 (日大松戸歯・再生歯科治療, 日大口腔科学研究所)
 木村 功 (日大松戸歯・再生歯科治療)
 西山典宏 (日大松戸歯・生体材料, 日大口腔科学研究所)
- P31. (歯内) 逆根管充填材の物性に関する研究
 【0410】 ……………○小澤稔史, 勝海一郎 (日歯大・保存)
- P32. (歯内) 根管充填法の違いが充填率に及ぼす影響
 【0410】 ……………○マイクrof ォーカス CT を応用した根管充填の非破壊的評価—
 ……………○清水康平, 羽鳥啓介 (日大歯・歯内療法)
 亀岡重雄 (日大歯・放射線)
 松本邦史, 本田和也 (日大歯・放射線, 高度先端医療研究部門)
 林 誠, 小木曾文内 (日大歯・歯内療法, 高度先端医療研究部門)
- P33. (歯内) 新ガンタイプ加熱根管充填器 HotShot による根管充填到達度の基礎的研究
 【0410】 ……………○榎本光夫, 上田剛史, 上島茂明, 徳永幸世, 永井旺介, 石井信之 (神歯大・歯内)
 長谷 徹 (湘南短大・歯科衛生)
- P34. (歯内) 低温融解型ガッタパーチャによる根管充填到達度の基礎的検討
 【0410】 ……………○平嶺倫子, 大浜美穂, 荻野志保, 永井旺介, 石井信之 (神歯大・歯内)
 長谷 徹 (湘南短大・歯科衛生)
- P35. (歯内) 根管模型を用いたイオン導入法における *Candida albicans* 仮性菌糸に対する抗菌効果
 【0410】 ……………○加藤大輔, 小山隆夫, 前田伸子 (鶴歯大・細菌)
 中野雅子, 新井 高 (鶴歯大・保存Ⅱ)
- P36. (歯内) 水酸化カルシウム製剤貼薬根管における根尖封鎖性の検討 (第 4 報)
 【0410】 ……………○吉田桐枝, 後藤康治, 河田真裕子, 前田英史, 畦森雅子,
 赤峰昭文 (九大歯・口腔機能 (歯内))
- P37. (歯内) 難治性根尖性歯周炎に対する水酸化カルシウム製剤「カルビタール®」の有用性
 【0410】 ……………○古澤成博, 小貫瑞穂, 大迫美穂, 根本詩子,
 早川裕記, 松本信哉 (東歯大・口健)
 吉田 隆 (埼玉県立大・口腔保健科学)
- P38. (歯内) 新規スピントラップ剤にて検出された NaClO と H₂O₂ から発生したフリーラジカルの解析
 【0410】 ……………○武内ひとみ, 松井 智, 高橋知多香, 田中みどり, 酒井きよ美,
 辻本恭久, 松島 潔 (日大松戸歯・歯内)

- P39. (歯内) 根管洗浄剤としての中性電解水の評価
【0410】 ○秋田康充, 河津祐之, 吉田隆一 (朝日大歯・口腔機能 (保存))
堀田康明 (朝日大歯・口腔科学共同研究所)
- P40. (歯内) MMP-3 は血管新生および修復象牙質形成を促進する
【0409】 ○天野一晴, 田中 毅, 松井寛敬, 山崎雅弘, 中村 洋 (愛院大歯・歯内治療)
中島美砂子, 庵原耕一郎 (国立長寿医療センター研究所・口腔機能再生研究室)
- P41. (歯内) ヒト象牙質フォスフォオリン由来ペプチドを用いた新規骨再生材料の開発
【1003】 ○安田善之, 泉川昌宣, 小池俊之, 川守田 暢, 犬山秀正,
立松祐哉, 新田 督, 斎藤隆史 (北医大歯・う蝕制御)
- P42. (歯内) Phosphoryn/アルギン酸ゲル複合体によるラット象牙質形成
【1003】 ○小池俊之, 半田慶介, 斎藤隆史 (北医大歯・う蝕制御)
- P43. (歯内) デキストランコーティングスポンジ状担体における骨髓幹細胞による硬組織形成
【1003】 ○下村容規, 好川正孝, 辻 則正, 数内崇督, 林 宏行 (大歯大・口腔治療)
- P44. (歯内) ヒト歯根膜細胞における炎症性サイトカインによる SOCS の発現
【0401】 ○福島晶絵, 松本典祥, 茂山千英子, 泉 利雄, 阿南 壽 (福歯大・修復・歯内)
岡部幸司 (福歯大・細胞生理)
片山知子 (福歯大・顎顔面美容センター)
- P45. (歯内) ヒアルロン酸による PC12 細胞の神経突起伸長抑制効果における RHAMM レセプターの関与
【0409】 ○鷺尾絢子, 北村知昭 (九歯大・齲蝕制御)
寺下正道 (九歯大・総合診療)
- P46. (歯内) IL-1 α および IL-1 β によるマウス骨芽細胞様細胞 MC3T3-E1 の動態における MAPK 系の関与
【0410】 ○富山高史, 久保克行, 前田博史, 高柴正悟 (岡大院医歯・歯周病態)
成石浩司 (岡大病院・歯周科)
大森一弘 (岡大病院・歯周科, 国立療養所大島青松園)
新井英雄 (岡大病院・歯周科, 国立療養所邑久光明園)
- P47. (歯内) MTA による培養ラット歯髓細胞の象牙芽細胞様分化に及ぼす影響
【0409】 ○小林未歩, 増田宜子, 山田嘉重, 松本光吉 (昭大歯・齲蝕歯内)
- P48. (歯内) ラット培養歯髓細胞における HSPG (gpc-1, 2, 3, 4) の発現について
【0409】 ○増田宜子, 山田嘉重, 小林未歩, 松本光吉 (昭大歯・齲蝕歯内)
- P49. (歯内) ヒト歯髓培養細胞の石灰化物形成における PGE₂ 受容体の役割
【0401】 ○坂本真樹, 安念素代, 富田 敬, 武内ひとみ, 松島 潔 (日大松戸歯・歯内)
- P50. (歯内) 炎症歯髓組織における RAGE および HMGB1 の発現
【0409】 ○徳田雅行, 作田哲也, 小山 徹, 達山祥子, 川上克子,
長岡成孝, 鳥居光男 (鹿大院医歯・修復歯内)
- P51. (歯内) FGF-2 濃度の違いが象牙質欠損部における硬組織誘導に与える影響
【0409】 ○石松宏隆, 北村知昭, 諸富孝彦 (九歯大・齲蝕制御)
田畑泰彦 (京大再生医科学研究所・生体材料)
寺下正道 (九歯大・総合診療)
- P52. (歯内) 培養歯髓細胞におけるカテキンの cell signaling に対する影響
【0409】 ○平尾功治, 湯本浩通, 中西 正, 高橋加奈子, 向井佳代, 松尾敬志 (徳大院・保存)
- P53. (歯内) PGE₂ 添加ヒト歯髓細胞の石灰化物形成における smads の動態
【0401】 ○安念素代, 坂本真樹, 岡部 達, 大林英美, 松島 潔 (日大松戸歯・歯内)

- P54. (歯内) 不死化イヌ歯髓細胞の特性について
 【1003】○半田慶介, 小池俊之, 斎藤隆史 (北医大歯・う蝕制御)
- P55. (歯内) ステロイド剤長期服用患者に見られた象牙質知覚過敏症の一症例
 【0408】○下川洋介, 堀部ますみ, 大石慶二, 永田俊彦 (徳大病院・歯周病科)
- P56. (歯周) マウス心臓におけるヒト歯周病原菌感染に対するサイトカイン産生
 【1104】 ...○赤松佑紀, 山本俊郎, 山本健太, 大迫文重 (京府医大院・歯科口腔科学, 免疫・微生物)
 喜多正和 (京府医大院・免疫・微生物)
 金村成智 (京府医大院・歯科口腔科学)
- P57. (歯周) 歯周病原性細菌に対する宿主応答
 【1104】 —マウス膿瘍モデルを用いた免疫組織学的検討—
○吉兼 透, 米田雅裕, 山田和彦, 鈴木奈央, 内藤 徹, 岡田一三,
 岩元知之, 榊尾陽一, 廣藤卓雄 (福歯大・総合歯科)
 阿南 壽 (福歯大・修復・歯内)
- P58. (歯周) Toll-like Receptor Ligands 刺激が誘導する単球の CCL20 産生に及ぼす Adrenomedullin の影響
 【0501】○細川育子, 細川義隆, 中江英明, 松尾敬志 (徳大院・保存)
 尾崎和美 (徳大院・口腔保健支援)
- P59. (歯周) Effects of Inorganic Polyphosphates on Bone Sialoprotein Gene Expression
 【0599】○WANG Zhitao (Department of Periodontology,
 Nihon University School of Dentistry at Matsudo, Tianjin Stomatology Hospital)
 TAKAI Hideki, SASAKI Yoko, MEZAWA Masaru, ARAKI Shouta
 (Department of Periodontology, Nihon University School of Dentistry at Matsudo)
 OGATA Yorimasa (Departments of Periodontology and Research Institute of Oral Science,
 Nihon University School of Dentistry at Matsudo)
- P60. (歯周) 上皮細胞増殖因子 (EGF) はヒト口腔上皮細胞の抗菌ペプチド発現を調節する
 【0901】○廣島佑香, 板東美香, 木戸淳一, 永田俊彦 (徳大院・歯周歯内)
 片岡正俊 (産業技術総合研究所・健康工学研究センターバイオマーカー解析チーム)
- P61. (歯周) ヒト歯肉線維芽細胞は機能的に CXCR6 を発現している
 【0501】○細川義隆, 細川育子, 中江英明, 松尾敬志 (徳大院・保存)
 尾崎和美 (徳大院・口腔保健支援)
- P62. (歯周) ヒト歯根膜細胞中のアルカリフォスファターゼ陰性細胞の特徴
 【0501】○鶴見亜有子, 小林 誠, 白井通彦, 山本松男 (昭大歯・歯周病)
- P63. (演題取り下げ)
- P64. (歯周) ヒト胎盤における FcγRIIb 発現と歯周病原細菌の存在
 【0599】○長谷川朋子, 杉田典子, 平野絵美, 岩永璃子, 吉江弘正 (新大院医歯・歯周)
- P65. (歯周) 歯根膜由来細胞を用いたメカニカルストレスに対する *Porphyromonas gingivalis* の影響
 【1103】 ○山本俊郎, 赤松佑紀, 足立圭司, 大迫文重, 雨宮 傑,
 中西 哲, 金村成智 (京府医大院・歯科口腔科学)
 喜多正和 (京府医大院・免疫・微生物)
- P66. (歯周) 臍帯由来間葉系細胞の培養試験
 【0599】○金指幹元, 白川 哲, 五味一博, 新井 高 (鶴大歯・保存Ⅱ)
 井上剛臣, 島 伸行 (アルブラスト (株)・事業開発部)

- P67. (歯周) 歯周組織欠損を施したⅡ型糖尿病モデルラットの早期創傷治癒過程における
【0599】 Ⅲ型コラーゲン形成 ……………○田幡 元 (大歯大院・歯周病)
富永和也 (大歯大・口腔病理)
上田雅俊 (大歯大・歯周病)
- P68. (歯周) ラット顎骨のベスキチン F による骨治癒過程における組織学的研究
【0501】 ……○中島宗隆, 安達 仁, 松浦芳久, 高橋一人, 菊井徹哉, 横瀬敏志 (奥羽大歯・修復)
- P69. (歯周) クマザサ抽出エキスの口腔内細菌, 歯周病原細菌および口臭に対する作用
【0901】 ……………○大橋敏雄, 谷田部一大, 大塚秀春, 秦泉寺 傑, 申 基喆 (明海大歯・歯周病)
- P70. (歯周) 柿ポリフェノールオリゴマーの歯周病原細菌に対する抗菌効果
【0901】 ……………○竹内康雄, 渡辺 久, 和泉雄一 (東医歯大院・歯周病)

第2日目 11月7日(金) A会場(3Fメインホール)

9:00~9:50 研究発表

座長 吉江弘正(新大院医歯)

- A16-0900. (歯周) ヒト BSP 遺伝子発現に対する副甲状腺ホルモンの影響
【0599】○荒木正大, 目澤 優, 金 東淳, 高井英樹(日大松戸歯・歯周治療学)
中山洋平, 小方頼昌(日大松戸歯・歯周治療学, 口腔科学研究所)
- A17-0910. (歯周) 脳由来神経栄養因子(BDNF)と高分子ヒアルロン酸を用いた歯周組織再生療法の開発
【0501】 - β -TCP 併用効果の検討-
.....○坂井宣之, 武田克浩, 柴 秀樹, 河口浩之(広大院医歯薬・歯周病態)
橋本正道(電気化学工業(株))
辻 紘一郎((株) ツーセル)
栗原英見(広大院医歯薬・歯周病態, (株) ツーセル)
- A18-0920. (歯周) 脂肪組織由来未分化間葉系幹細胞の移植による歯周組織再生療法の開発
【0501】 ...○小笹匡雄, 橋川智子, 島袋善夫, 岩山智明, 大原廣之, 梶川哲宏, 安齋 純, 村上伸也
(阪大院歯・免疫制御(治療))

座長 原 宜興(長大院医歯薬)

- A19-0930. (歯周) 歯の再生機構解明を目指した遺伝子改変型人工歯胚作製法の開発
【0501】○和田知子(阪大院歯・生化学, 東京理大・基礎工学)
齋藤正寛(阪大院歯・生化学)
- A20-0940. (歯周) クラスII HLA 分子を介した刺激を受けた歯肉線維芽細胞による Th 細胞応答性の制御
【1103】○大山秀樹, 小越菜保子(兵庫医大・機能病理)
目黒道生, 吉澤さゆり, 岡田祐佳(岡大院医歯薬・歯周病態)
西村英紀(広大院医歯薬・健康増進)

9:50~10:00 休憩

10:00~11:00 特別講演

11:00~11:10 休憩

11:10~12:00 研究発表

座長 興地隆史(新大院医歯)

- A21-1110. (歯内) ラット修復象牙質形成における遺伝子発現の網羅的解析
【0409】 ...○高橋雄介, 吉岡靖介, 今里 聡, 騎馬和歌子, 恵比須繁之(阪大院歯・感染制御(保存))
- A22-1120. (歯内) ヒト象牙芽細胞層の三次元的カップリングネットワーク
【1106】○池田英治, 須田英明(東医歯大院・歯髄生物)
- A23-1130. (歯内) Lef-1 は培養歯髄細胞の石灰化に影響する
【0409】○横瀬敏志, 中 貴弘, 天野義和(奥羽大歯・修復)

座長 吉田隆一(朝日大歯)

- A24-1140. (歯内) ヒアルロン酸スポンジに対する歯髄組織の炎症応答
【1003】○犬山喜夫, 北村知昭, 諸富孝彦, 永吉雅人(九歯大・齲蝕制御)
寺下正道(九歯大・総合診療)

- A25-1150. (歯内) 象牙芽細胞様細胞の有する象牙質形成能への熱刺激の影響
 【0409】○諸富孝彦, 北村知昭 (九歯大・齲蝕制御)
 寺下正道 (九歯大・総合診療)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
 12:00~13:00 編集連絡委員会 (B 会場にて)
 13:00~14:00 ポスター発表 (ポスター会場にて)
 14:00~14:50 研究発表
- 座 長 松 島 潔 (日大松戸歯)
- A26-1400. (歯内) ホルマリン・グアヤコール (FG) 根管貼薬時のホルムアルデヒド蒸気測定
 【0105】○井川資英, 島内英俊 (東北大院歯・歯内歯周)
 進藤 拓 (東北大・環境保全センター)
 井川恭子 (東北大院歯・予防歯科)
- A27-1410. (歯内) 曲率半径と荷重がニッケルチタンファイルの疲労破折に与える影響
 【1002】○八幡祥生, 林 洋介, 海老原 新, 小林千尋, 須田英明 (東医歯大院・歯髄生物)
- A28-1420. (歯内) 18 ヶ月水中保管された根管充填歯における歯根破折について
 【0410】○石村 瞳, 花田隆周, 菊地和泉, 吉岡隆知, 小林千尋,
 須田英明 (東医歯大院・歯髄生物)
- 座 長 五十嵐 勝 (日歯大新潟)
- A29-1430. (歯内) Er: YAG レーザー照射による根管充填材除去時の象牙質の歪
 【0410】○渡辺 聡, 石澤千鶴子, GOMB Bolortuya, 三枝英敏, 安生智郎,
 海老原 新, 小林千尋, 須田英明 (東医歯大院・歯髄生物)
- A30-1440. (歯内) 根管洗浄の新しい評価方法
 【0410】○小林千尋, 吉岡隆知, 須田英明 (東医歯大院・歯髄生物)
- 14:50~15:00 休憩
 15:00~16:00 臨床セッション
- 座 長 松 尾 敬 志 (徳大院)
- S1-1500. (修復) 新規ホームホワイトニング材 (ティオン ホーム) の臨床評価
 【0414】○大槻昌幸, 田上順次 (東医歯大院・う蝕制御)
 池田正臣 (東医歯大・歯科技工士学校)
- S2-1510. (修復) Carisolv 使用時の問題点に関する検討
 【0409】○山田嘉重, 真鍋厚史, 増田宜子, 那須裕弥, 清水由子,
 久光 久, 松本光吉 (昭大歯・齲蝕歯内)
- S3-1520. (修復) 感染歯質除去後の象牙質内残存細菌に対し Er: YAG レーザーを用いた修復処置
 【0403】○薮根敏晃, 野杵由一郎, 林 美帆, 田中章平, 伊藤宗倫,
 吉岡靖介, 恵比須繁之 (阪大院歯・感染制御 (保存))

座 長 山 本 宏 治（朝日大歯）

S4-1530.（歯内） 超音波チップによる破折ファイル除去

【0410】 ○明石俊和，鶴町 保，武市 収，小森規雄，勝呂 尚，
小木曾文内（日大歯・歯内療法，高度先端医療研究部門）

S5-1540.（歯周） 歯科治療における口臭への対応

【0901】 ○福田光男（愛院大歯・歯周健康増進，歯周病）
野口俊英（愛院大歯・歯周病）
村上多恵子，中垣晴男（愛院大歯・口腔衛生）

16：00～16：10 閉会の辞

第2日目 11月7日(金) B会場(2F 202~204)

9:00~9:50 研究発表

座長 廣藤卓雄(福歯大)

- B16-0900. (歯内) アレンドロネートによる顎骨壊死誘導機序の解明に関する研究
【1105】 ……○三壁信洋, 渡部弘隆, 佐藤武則, 千枝桂子, 武藤徳子, 石井信之(神歯大・歯内)
- B17-0910. (その他) 超高压電子線トモグラフィーを用いた人歯超微細構造の3次元観察手法の開発
【0401】 ……○三浦治郎, 竹重文雄(阪大病院・口腔総合診療)
長谷川紀明, 森 博太郎(阪大・超高压電子顕微鏡センター)
- B18-0920. (その他) 神経損傷後疼痛モデルにおけるグリシン神経を介した鎮痛作用
【0499】 ……○本山直世, 西村英紀(広大院医歯薬・健康増進)
森田克也, 北山友也, 土肥敏博(広大院医歯薬・歯科薬理)

座長 西村英紀(広大院医歯薬)

- B19-0930. (その他) キトサン刺激による培養ヒト上皮細胞内 IL-8 産生量へのタンニン酸の影響
【1199】 ……○石崎秀隆, 山田志津香, 林 善彦(長大院医歯薬・齲蝕)
- B20-0940. (その他) キトサングム咀嚼による齲蝕・歯周病原性細菌の発育抑制効果
【0901】 ……○林 善彦, 藤原 守, 石崎秀隆, 山田志津香(長大院医歯薬・齲蝕)
大原直子(日大歯・補綴Ⅲ)

9:50~10:00 休憩

10:00~11:00 特別講演(A会場にて)

11:00~11:10 休憩

11:10~12:00 研究発表

座長 吉山昌宏(岡大院医歯薬)

- B21-1110. (修復) コンポジットレジンに対する加温がヌープ硬さ及びヒト象牙質への接着強さに与える影響
【0413】 ……○岩本奈々子, 岸川隆蔵, 中島正俊(東医歯大院・う蝕制御)
井高沙織, 杉森 匡(東医歯大歯)
田上順次(東医歯大院・う蝕制御, 21世紀 COE プログラム)
- B22-1120. (修復) E-Lize による接着性改善メカニズムの解明
【0413】 ……○谷 千尋, 楠 みづほ, 及川美早, 伊藤和雄, 久光 久(昭大歯・齲蝕歯内)
田畑泰彦(京大再生医科学研究所・生体材料)
- B23-1130. (修復) ナノテクノロジーの歯質接着への展開: 白金ナノコロイド(CPN)の応用
【0413】 ……○星加修平, 長野二三, 田中 亨, 佐野英彦(北大院歯・修復・歯内)

座長 宮崎真至(日大歯)

- B24-1140. (修復) 新規支台築造用コンポジットレジンの歯質接着性について
【0411】 ……○杉崎順平, 森上 誠, 宇野 滋, 山田敏元(虎の門病院・歯科)
- B25-1150. (修復) コラーゲン固定化エチレン-ビニルアルコール共重合体(EVA+C)
【0409】 添加試作石灰化誘導促進性接着材の接着強さと生体親和性に関する基礎的研究
……○神農泰生, 大前正範, 岸本麻実, 穴吹優佳, 高橋 圭, 山路公造,
西谷佳浩, 吉山昌宏(岡大院医歯薬・保存修復)

12：00～13：00 編集連絡委員会
 13：00～14：00 ポスター発表（ポスター会場にて）
 14：00～14：50 研究発表

座 長 横 瀬 敏 志（奥羽大歯）

- B26-1400.（修復） う蝕検知液可染性う蝕付き人工歯の開発
 【0403】 ……………○新田 督，半田慶介，安田善之，伊藤修一，斎藤隆史（北医大歯・う蝕制御）
- B27-1410.（修復） TNF- α 刺激によるヒト歯髄由来線維芽細胞の MMPs 産生について
 【1107】 ……………○竹内 摂，吉川一志，河村昌哲，三木秀治，山本一世（大歯大・保存）
 合田征司，池尾 隆（大歯大・生化学）
- B28-1420.（修復） コンポジットレジン修復物の象牙質窩壁適合性に及ぼす治療用放射線照射の影響
 【0412】 ……………○吉川孝子，田上順次（東医歯大院・う蝕制御）
 三浦雅彦（東医歯大院・口腔放射線腫瘍）

座 長 斎 藤 隆 史（北医大歯）

- B29-1430.（その他） S-PRG フィラー含有義歯用コーティング材の開発
 【0602】 ……………○上松信助，都尾元宣（朝日大歯・補綴）
 作 誠太郎，伊藤知佐，ロヘリオ スクーガル，堀田正人，
 山本宏治（朝日大歯・口腔機能（修復））
- B30-1440.（修復） Crude-BMP 含有 MTA による象牙質形成について
 【0409】 ……………○堀江 卓，森田有香，中野健二郎，劉 利恵，渡辺俊之，
 富士谷盛興，千田 彰（愛院大歯・保存修復）

14：50～15：00 休憩
 15：00～16：00 臨床セッション（A 会場にて）
 16：00～16：10 閉会の辞（A 会場にて）

第2日目 11月7日(金) ポスター会場(3F ホワイエ)

9:00~10:00 ポスター準備

10:00~13:00 ポスター掲示

13:00~14:00 ポスター発表

14:00~15:30 ポスター掲示

15:30~16:20 ポスター撤去

P71. (歯内) 405 nm LED 照射がヒト歯髄培養細胞における炎症性サイトカインの抑制効果

【0409】○高橋知多香, 松井 智, 辻本恭久, 松島 潔(日大松戸歯・歯内)
的場一成(モリタ製作所)

P72. (歯内) 中性電解機能水(パーフェクトペリオ®)のヒト歯髄細胞に対する細胞傷害性および

【0409】 アルカリホスファターゼ活性に及ぼす影響
.....○中村裕子, 久野木克典, 杉山 僚, 小此木 雄, 中村幸生(明海大歯・歯内療法)
橋本 研, 坂上 宏(明海大歯・薬理)

P73. (歯内) ペーストタイプ根管充填用シーラーの物性試験および抗菌効果

【0410】 —ユージノールおよび非ユージノール含有シーラーの比較—
.....○佐藤武則, 鈴木二郎, 石井信之(神歯大・歯内)
横田兼欣, 常川勝由(日本歯科薬品(株))
浜田信城(神歯大・微生物)

P74. (歯内) セルフエッチング型接着性根充シーラーの接着性

【0410】 —根管洗浄液の影響—
.....○大槻晴夏, 小里達也(サンメディカル(株)・研究部)
川島 正, 松島 潔(日大松戸歯・歯内)
若松尚吾, 山本憲廣, 池見宅司(日大松戸歯・う蝕審美)

P75. (歯内) ガス滅菌の構成成分比の異なるガッタパーチャポイントへの影響

【0410】○鳥塚慎二, 飯野史明, 福田貴久, 石尾登子, 細矢哲康, 新井 高(鶴歯大・保存Ⅱ)

P76. (歯内) 試作 S-PRG フィラー含有根管充填用シーラーの抗菌性

【0410】○吉田匡宏, 馬場忠彦, 藤平智広, 林 宏行(大歯大・口腔治療)
山根一芳, 福島久典(大歯大・細菌)

P77. (歯内) 形状記憶ポリマーの根管充填材への応用

【0410】 —80 番まで形成した人工根管での封鎖性の検討—
.....○塚田岳司, 長岡成孝, 鳥居光男(鹿大院医歯・修復歯内)
田中利明(田中歯科医院)

P78. (歯内) 湾曲根管におけるスプレダーの適合性

【0410】○小倉陽子, 木津喜美香, 前田宗宏, 立浪秀幸, 小澤稔史, 勝海一郎(日歯大・保存)
天野亮子, 大島克郎(日歯大・総合診療)

P79. (歯内) マイクロフォーカス CT を用いた根管充填材の除去効果の検討

【0410】○佐藤隆夫, 小林千明(日大歯・歯内療法)
林 誠, 小木曾文内(日大歯・歯内療法, 高度先端医療研究部門)
深瀬康公, 米山隆之(日大歯・理工, 生体工学研究部門)

- P80. (歯内) 接着性根充シーラーの接着性
【0410】 ー根管象牙質部位の影響ー
……………○荒田正三, 下園明里, 大槻晴夏, 小里達也 (サンメディカル (株)・研究部)
川島 正, 松島 潔 (日大松戸歯・歯内)
若松尚吾, 山本憲廣, 池見宅司 (日大松戸歯・う蝕審美)
- P81. (歯内) 接着性根管充填シーラーの接着性に関する研究
【0410】 ー根管の異なる部位における接着性の解析ー
……………○栗倉あずさ, 湯本泰弘, 古市保志 (北医大歯・歯周歯内)
伊藤修一, 塚本尚弘, 斎藤隆史 (北医大歯・う蝕制御)
- P82. (歯内) 内部吸収により歯周ポケットへ穿孔した下顎大白歯を 4-META/MMA-TBB レジンと
【0410】 吸収性メンブレンの応用により治療した 1 症例
……………○呉 崇史, 高橋哲哉, 小林健二, 中村幸生 (明海大歯・歯内療法)
- P83. (歯内) 歯根縦破折歯の保存療法に有効な接着性根管充填シーラーの検討
【0410】 ……………○湯本泰弘, 栗倉あずさ, 古市保志 (北医大歯・歯周歯内)
伊藤修一, 斎藤隆史 (北医大歯・う蝕制御)
- P84. (歯内) 融合歯の歯内療法
【0410】 ……………○北村和夫, 山崎孝子, 阿川透久, 大島克郎, 吉野真弘,
小川真知子 (日歯大・総合診療)
勝海一郎 (日歯大・保存)
- P85. (歯内) ホタテ貝殻の歯科材料への再利用
【0410】 ー難治性根尖性歯周炎の原因菌に対する殺菌効果についてー
……………○泉川昌宣, 安田善之, 立松祐哉, 川守田 暢, 斎藤隆史 (北医大歯・う蝕制御)
塚越 慎 (浦臼歯科診療所)
- P86. (歯内) 歯内処置に起因した neuropathic tooth pain の診断と管理
【0410】 ……………○大島克郎, 石井隆資, 天野亮子, 清水章矢, 北村和夫 (日歯大・総合診療)
小倉陽子, 勝海一郎 (日歯大・保存)
- P87. (歯内) bFGF による露髄面の治癒における影響
【0409】 ……○河津祐之, 秋田康充, 山田麻衣子, 吉田龍史, 吉田隆一 (朝日大歯・口腔機能 (保存))
澁谷俊昭 (朝日大歯・感染医療 (歯周病))
- P88. (歯内) ファイバーポイントが垂直性歯根破折に与える影響
【0410】 ……………○花田隆周, 吉岡隆知, 須田英明 (東医歯大院・歯髄生物)
岩崎直彦, 高橋英和 (東医歯大院・先端材料評価)
- P89. (その他) CT によって診断された歯根破折の一症例
【0502】 ……………○大石慶二, 徳永 格, 米田 哲, 永田俊彦 (徳大院・歯周歯内)
大石美佳 (徳大院・総合診療)
- P90. (歯内) 新ニッケルチタンファイル GT Series X の曲げ特性
【1002】 ……………○林 洋介, 八幡祥生, 海老原 新, 須田英明 (東医歯大院・歯髄生物)
塙 隆夫 (東医歯大・生材研・金属材料)
- P91. (歯内) 新しい GT ファイルの S 字状根管に対する根管形成能
【0410】 ……………○西川郁夫, 畠 銀一郎, 林 宏行 (大歯大・口腔治療)
- P92. (歯内) NiTi ファイル使用後の根尖孔開口面からみた根管偏位に関する観察
【0410】 ……………○新井恭子, 北島佳代子, 長谷川有紀, 五十嵐 勝 (日歯大新潟・保存 I)

- P93. (歯内) NiTi ロータリーファイル使用時の荷重と移動速度に対する湾曲度の影響に関する研究
【0410】 ……○北島佳代子, 新井恭子, 長谷川有紀, 五十嵐 勝 (日歯大新潟・保存Ⅰ)
- P94. (歯内) 半導体レーザー照射後のラット臼歯歯髄初期反応に関する免疫組織学的検討
【0409】 ……○笹 なつき (新大歯・歯学科)
重谷佳見, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 興地隆史 (新大院医歯・う蝕)
鈴木啓展 (新大院医歯・硬組織形態)
- P95. (歯内) BMP による骨芽細胞分化における半導体レーザー照射の効果
【0409】 ……○平田志津 (九歯大・齲蝕制御, 分子情報生化学)
自見英治郎 (九歯大・分子情報生化学)
北村知昭 (九歯大・齲蝕制御)
寺下正道 (九歯大・総合診療)
- P96. (歯内) Er:YAG レーザーによる窩洞形成後のラット臼歯歯髄反応に関する免疫組織学的検討
【0409】 ……○重谷佳見, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 興地隆史 (新大院医歯・う蝕)
鈴木啓展 (新大院医歯・硬組織形態)
笹 なつき (新大歯・歯学科)
山中裕介 (新大病院・総合臨床研修センター)
- P97. (歯内) 根管治療における Er:YAG レーザーとファイバースコープの併用法
【0410】 ……○山崎泰志, 小林一行, 福田貴久, 鳥塚慎二, 小澤寿子, 新井 高 (鶴大歯・保存Ⅱ)
- P98. (歯内) 根管壁象牙質に対する Er:YAG および Er, Cr:YSGG レーザーの照射効果に関する基礎的研究
【0410】 ……○小谷依子, 小林健二, 村岡 亮, 松見秀之, 中村幸生 (明海大歯・歯内療法)
片山 直 (明海大歯・保存修復)
- P99. (歯周) 喫煙および受動喫煙が GCF エラスターゼ活性に及ぼす影響
【0202】 —とくに inhibitor との関連について—
……○伊藤 弘, 永田達也, 伊藤明子, 濱田 亮, 沼部幸博 (日歯大・歯周病)
- P100. (歯周) ヒト樹状細胞の分化・免疫応答に及ぼすニコチンの影響
【1103】 ……○柳田 学, 小林良平, 兒島由子, 柏木陽一郎, 小笹匡雄,
村上伸也 (阪大院歯・免疫制御 (治療))
- P101. (歯周) ケモカイン CCL7, CCL25 は破骨細胞形成を促進する
【1107】 ……○林 幸恵, 岡松良昌, 塚本康巳, 矢野亜希子, 臼井通彦, 山本松男 (昭大歯・歯周病)
- P102. (歯周) 広汎型侵襲性歯周炎患者の長期治療経過について
【0501】 ……○谷 真彦, 谷 芳子 (谷歯科医院)
- P103. (歯周) 卵巣摘出ラット顎骨に対する CO₂ レーザーの影響について
【0501】 ……○金子友紀, 和田隆史, 大河内瑠夏, 西村 翼, 中 貴弘, 横瀬敏志 (奥羽大歯・修復)
- P104. (その他) 片側高度テーパー型歯ブラシによるプラーク除去効果
【0901】 —異なる断面の歯ブラシフィラメントについて—
……○望月久子, 岡崎 愛, 小竹宏朋, 堀田正人, 山本宏治 (朝日大歯・口腔機能 (修復))
今出昌一, 佐野 晃 ((株) ジャックス)
- P105. (歯周) 音波式電動歯ブラシの共振がプラーク除去効果に及ぼす影響
【0901】 ……○山下亜希, 両角祐子, 菅原淳道, 佐藤 聡 (日歯大新潟・歯周病)
岩堀敏之 (オムロンヘルスケア (株))
宮崎晶子, 原田志保, 佐藤治美 (日歯大新潟短大)
小倉英夫 (日歯大新潟・歯科理工)

- P106. (歯周) 職域における電動ブラシを使用した口腔健康指導による行動変容の評価
 【0901】 ……………○岩元知之, 内藤 徹, 鈴木奈央, 米田雅裕, 廣藤卓雄 (福歯大・総合歯科)
 宮木幸一 (京大院医・健康情報, 東医歯大難治疾患研究所・分子疫学)
 長谷川尚子, 大浦智子, 中山健夫 (京大院医・健康情報)
- P107. (その他) 培養ヒト口腔細胞の増殖に及ぼす CO₂レーザー照射のホルメシス効果の検討
 【1001】 …………… ○岩坂憲助, 安永 慎, 山田晶子, 片山 直 (明海大歯・保存修復)
 坂上 宏 (明海大歯・薬理)
- P108. (修復) Er, Cr: YSGG レーザー照射歯質に関する研究
 【0403】 —表面形状と除去効率について—
 ……………○岩田有弘, 河見忠雄, 谷本啓彰, 吉田敏和, 藤原秀樹,
 井上昌孝, 林原久盛, 山本一世 (大歯大・保存)
- P109. (修復) Er: YAG レーザー照射象牙質への前処理が象牙質に与える影響について
 【0413】 ……………○保尾謙三, 田中芳人, 野村雄司, 砂田和久, 西田尚敬,
 村田文子, 吉川一志, 山本一世 (大歯大・保存)
- P110. (修復) Er: YAG レーザーを照射したう蝕影響象牙質へのレジン接着強さに関する研究
 【0413】 ……………○大前正範, 田中久美子, 岸本麻実, 穴吹優佳, 星加知宏, 西村麻衣子,
 高橋 圭, 西谷佳浩, 吉山昌宏 (岡大院医歯薬・保存修復)
- P111. (修復) 炭酸ガスレーザー照射された象牙質における接着性セメントの接着性能について
 【0413】 ……………○成橋昌剛, 森田有香, 青山剛大, 堀江 卓, 山田三良,
 富士谷盛興, 千田 彰 (愛院大歯・保存修復)
- P112. (その他) タービンハンドピース単体でのサックバック防止効果
 【0306】 ……………○中野雅子, 小澤寿子, 木村泰子, 鰐原治子, 新井 高 (鶴大歯・保存Ⅱ)
- P113. (修復) 歯科診療補助ツール「イソライト・プラス」応用時の快適性・安全性に関する臨床評価
 【0404】 第1報 窩洞形成時の術者および患者からみた問題点
 ……………○野呂明夫, 杉山利子, 近藤祥弘, 角田正健 (東歯大千葉病院・総合診療)
 亀山敦史 (東歯大千葉病院・総合診療, 東歯大・修復)
 浅見政子, 平井義人 (東歯大・修復)
 森永一喜 (東歯大千葉病院・総合診療, 東歯大・歯内)
- P114. (修復) 歯科診療補助ツール「イソライト・プラス」応用時の快適性・安全性に関する臨床評価
 【0404】 第2報 口腔内温度および湿度の変化
 ……………○浅見政子, 平井義人 (東歯大・修復)
 亀山敦史 (東歯大・修復, 東歯大千葉病院・総合診療)
 野呂明夫, 杉山利子, 近藤祥弘, 角田正健 (東歯大千葉病院・総合診療)
 森永一喜 (東歯大千葉病院・総合診療, 東歯大・歯内)
- P115. (修復) 表面滑沢硬化材の歯ブラシ摩耗について
 【1002】 ……………○京泉秀明, 山田純嗣, 鈴木敏光, 久光 久 (昭大歯・齲蝕歯内)
- P116. (修復) Ultrasonic Insertion Technique により接着されたリューサイトガラスセラミックインレーの
 【0413】 破折強度
 ……………○風間龍之輔, 浅井哲也, 興地隆史 (新大院医歯・う蝕)
 福島正義 (新大歯・口腔生命福祉学科)

- P117. (修復) 常温重合レジンの使用条件および保管条件が曲げ特性に及ぼす影響
【1002】 ……………○遠藤優子, 川本 諒, 太田舞子, 森 健太郎, 色川敦士 (日大歯・保存修復)
高見澤俊樹, 宮崎真至 (日大歯・保存修復, 生体工学研究部門)
市石芳博 (市石歯科医院)
- P118. (歯内) ユージノール濃度を低減させた酸化亜鉛ユージノールセメントに関する研究
【0410】 ……………○前田宗宏, 石塚克巳, 勝海一郎 (日歯大・保存)
橋本修一 (日歯大・共同利用 RI 研究室)
- P119. (その他) 弾性を有する歯科用セメントの基礎的研究
【1002】 ……………○蟹江隆人 (鹿大院医歯・歯科生体材料)
伊地知博史 (いちち歯科クリニック)
- P120. (修復) セルフエッチングボンディング材のセメント質に対する接着性能
【0413】 ……………○岩崎小百合, 大槻晴夏, 小里達也, 荒田正三 (サンメディカル (株)・研究部)
金子 至 (金子歯科医院)
- P121. (修復) デュアルキュア型ボンディング材のヒト象牙質に対する剪断接着強さ
【0413】 ……………○高橋利幸 (鶴大病院・障害者歯科)
英 將生, 桃井保子 (鶴大歯・保存 I)
- P122. (修復) EDTA による象牙質軟化深さと接着性の相関
【0413】 ……………○加藤幸代, 谷 千尋, 伊藤和雄, 久光 久 (昭大歯・齲蝕歯内)
- P123. (修復) ワンステップセルフエッチシステムの保管条件が歯質接着性に及ぼす影響
【0413】 ……………○澁谷陽子, 岩佐美香, 土屋博昭, 小池大輔, 千葉康史 (日大歯・保存修復)
坪田圭司, 宮崎真至 (日大歯・保存修復, 生体工学研究部門)
岩崎圭祐 (東京電力病院)
- P124. (修復) 保存期間と使用前の振とう操作は 1-ステップ接着システムの性能に影響を与えるのか
【0413】 ……………○鈴木裕貴, 佐藤かおり, 劉 利恵, 山田三良, 千田 彰 (愛院大歯・保存修復)
- P125. (修復) 仮封材が合着用セメントの歯質接着性に及ぼす影響
【0413】 ……………○レジン強化型グラスアイオノマー, レジンセメントの接着に対して—
……………○岡田伸男, 寺田林太郎 (岩医大歯・保存 I)
- P126. (修復) 改良型ワンステップボンディングシステムの歯質への接着強さ
【0413】 ……………○陳 克恭, 大木達雄, 母里公平 (九歯大・齲蝕制御)
寺下正道 (九歯大・総合診療)
- P127. (修復) 被着面の違いがワンステップ接着システムの象牙質接着性に及ぼす影響
【0413】 ……………○安本 恵, 星加修平, 長野二三, 田中 亨, 佐野英彦 (北大院歯・修復・歯内)
- P128. (修復) 圧搾空気の汚染がワンステップシステムの歯質接着性に及ぼす影響
【0413】 ……………○砂田識敦, 大藤竜樹, 池田昌彦 (日大歯・保存修復)
黒川弘康, 陸田明智, 安藤 進, 宮崎真至 (日大歯・保存修復, 生体工学研究部門)
松崎辰男 (松崎歯科医院)
- P129. (修復) 新規ワンボトルセルフアドヒーシブの接着強さ
【0413】 ……………○英 將生, 秋本尚武, 桃井保子 (鶴大歯・保存 I)
- P130. (修復) 中性電解水がワンステップ接着システムの歯質接着性に及ぼす影響
【0413】 ……………○寺田林太郎, 岡田伸男 (岩医大歯・保存 I)

- P131. (修復)
【1002】 試作接着システム GBA-400 に関する研究
— 歯質処理面, 接着界面および辺縁封鎖性について —
……………○韓 臨麟, 岡本 明, 福島正義, 興地隆史 (新大院医歯・う蝕)
- P132. (修復)
【0413】 1 ステップ接着システムに関する研究
— 4. 新たな接着システム GBA400 において, エアブロー法が接着強さに及ぼす影響について —
……………○劉 利恵, 長谷川哲也, 河合利浩, 青山剛大, 村田公成,
富士谷盛興, 千田 彰 (愛院大歯・保存修復)
- P133. (修復)
【0413】 試作ワンステップボンディング材 GBA400 の歯質表面粗さの違いによる接着強さへの影響
……………○高橋 圭, 李 相紅, 星加知宏, 田中久美子, 西谷佳浩,
吉山昌宏 (岡大院医歯薬・保存修復)
- P134. (修復)
【0202】 赤外線サーモグラフィを用いた歯根破折診断法の開発
— 摩擦熱発生条件についての検討 —
……………○徳川真美, 岩見行晃, 林 美加子, 今里 聡,
恵比須繁之 (阪大院歯・感染制御 (保存))
竹重文雄 (阪大病院・口腔総合診療)
阪上隆英 (阪大院工・機械工学)
- P135. (修復)
【0408】 象牙質知覚過敏抑制材塗布後の象牙質透過性の経時変化
……………○石幡浩志, 島内英俊 (東北大院歯・歯内歯周)
兼平正史, 小松正志 (東北大院歯・保存)
FINGER WJ (University of Cologne)
菅 俊行 (徳大院・保存)
佐藤秀明 (武蔵工大工・表面加工研究室)
山本隆司 (サンメディカル (株))
- P136. (修復)
【0408】 S-PRG パウダーおよびポリアクリル酸を応用した新規象牙質知覚過敏治療法の開発
— 細管封鎖内容物の分析 —
……………○向井義晴, 富山 潔, 岡田周策, 椎谷 亨, 鈴木 勝,
福川裕見, 寺中敏夫 (神歯大・保存)
- P137. (その他)
【1199】 ESR spin trapping を用いた in vitro における Xanthine Oxidase 活性に対する
Nitric Oxide と Peroxynitrite の影響
……………○牧村英樹, 染井千佳子, 長濱文雄, 和田守康
(日大松戸歯・再生歯科治療, 口腔科学研究所)
木村 功, 菊地信之 (日大松戸歯・再生歯科治療)
大峰浩隆 (日大松戸歯・顎咬合形成外科, 口腔科学研究所)
今村隆一 (日大松戸歯・顎顔面矯正, 口腔科学研究所)
山口 大 (日大松戸歯・矯正, 口腔科学研究所)
李 昌一 (神歯大・薬理)
河野雅弘 (東北大学未来科学技術共同研究センター・量子生命反応工学創製)

- P138. (その他) 歯の凍結保存が歯根膜細胞活性に与える影響
【0499】 —保存液についての分析—
.....○染井千佳子, 牧村英樹, 長濱文雄, 和田守康
(日大松戸歯・再生歯科治療, 口腔科学研究所)
高野真知 (日大松戸歯・矯正)
坂本真樹, 松島 潔 (日大松戸歯・歯内, 口腔科学研究所)
菊地信之, 木村 功 (日大松戸歯・再生歯科治療)
山口 大, 葛西一貴 (日大松戸歯・矯正, 口腔科学研究所)
- P139. (その他) 小顎症における歯の凍結保存後の移植術の有用性
【0499】 第2報: 大白歯部への応用
.....○木村 功, 菊地信之 (日大松戸歯・再生歯科治療)
牧村英樹, 染井千佳子, 長濱文雄, 和田守康
(日大松戸歯・再生歯科治療, 口腔科学研究所)
大峰浩隆 (日大松戸歯・顎咬合形成外科, 口腔科学研究所)
今村隆一 (日大松戸歯・顎顔面矯正, 口腔科学研究所)
山口 大 (日大松戸歯・矯正, 口腔科学研究所)
- P140. (その他) パノラマインデックスを用いた口腔疾患の病態と心疾患に対する検討
【0303】○長谷川 徹, 山本俊郎, 後藤文宏, 静 千加世, 植西俊裕, 梅村星子, 中村 亨,
坂下敦宏, 西垣 勝, 金村成智 (京府医大院・歯科口腔科学)
- P141. (その他) 広範な海綿状血管腫のため保存的歯科治療に苦慮した1例
【0499】○藤原正識, 本田公亮, 渡邊理恵, 阿部徹也, 木下直人,
長谷川誠実, 清水明彦 (兵庫医大・歯科口腔外科)
- P. 142 (歯内) VIP receptor expression in the Hertwig's epithelial root sheath
【1101】○XU Jing, KAWASHIMA Nobuyuki, SUZUKI Noriyuki,
TAKAHASHI Satomi, KOIZUMI Yu, SUDA Hideaki
(Pulp Biology and Endodontics, Department of Restorative Sciences,
Tokyo Medical and Dental University)
OKUHARA Shigeru (Molecular Craniofacial Embryology, Department of Maxillofacial Biology,
Tokyo Medical and Dental University)
WEI Shucheng (Department of Endodontics, Faculty of Stomatology,
Capital Medical University, CHINA)
SUBHAKORN Sermsiri (Priest Hospital, Department of Medical Service,
Ministry of Public Health, THAILAND)
- P143. (歯内) 炭酸カルシウムがヒト歯髄培養細胞の石灰化物形成能促進におよぼす影響
【0409】○荒井清司, 松根健介, 前田隆秀 (日大松戸歯・小児歯科)
松井 智, 高橋知多香, 辻本恭久, 松島 潔 (日大松戸歯・歯内)

講演抄録

特別講演……………2

シンポジウム……………3

認定研修会……………6

研究発表

口演発表 (A, B) ・ポスター発表 (P) ・臨床セッション (S)

第1日目 A会場 : A1～15…………… 7～21

第1日目 B会場 : B1～15…………… 22～36

第2日目 A会場 : A16～30 …………… 37～51

第2日目 B会場 : B16～30 …………… 52～66

第1日目ポスター会場 : P1～70…………… 67～135

第2日目ポスター会場 : P71～141……………136～206

第2日目 A会場 : S1～5…………… 207～211

Advances in Adhesive Dentistry

Former Professor and Head, Department of Restorative Dentistry, The University of Manitoba and
The University of Western Ontario, Canada

M. Suzuki, DDS, MS, DMD, FACD, FICD

The concept of direct bonding of resin to etched enamel advocated by Dr. Michael Buonocore has revolutionized the restorative dentistry. Together with the introduction of composite resin in the mid 1960th, it allows us to provide not only esthetic, but more importantly allows us to perform infinitely more conservative restoration of the teeth.

The composite resin evolved from the original formulation of Macrofil to more recent introduction of Nanofil composite. Latter provide not only superior polishability but also exhibiting excellent wear resistance and durability.

Advances in composite resin have gone hand in hand with the greater understanding of the process of total bonding to the tooth structure without which the proper long term restoration of the teeth with these materials would not be possible.

Composite resin used during the past 40 years are all based on Dr. R. Bowen's Bis-GMA chemistry and differ mainly in particle sizes and their distribution. Hence, all composite has an inherent problem of polymerization contraction which develops a complex interaction with the surrounding tooth structure when it cures.

The most recent introduction of Silorain, the composite without Bis-GMA exhibits relatively low volumetric shrinkage (less than 1%) and it offers exciting development in the area of Bio-Material Science.

Laser Use in Operative and Preventive Dentistry

Professor of Preventive and Restorative Dental Sciences
at the University of California, San Francisco, USA

John D. B. Featherstone, MSc, PhD

Enamel and Dentin contain apatite mineral, water and protein. Lasers used for hard tissue applications must be absorbed by the mineral and/or the water in order to be efficient and effective for ablation or for preventive applications. Er: YAG and Er, Cr: YSGG are absorbed by the water at around 2.8–2.9 μm , whereas carbon dioxide wavelengths are absorbed by the apatite mineral at around 9–11 μm . Efficient ablation requires optimization of the laser parameters for explosive ablation due to superheating of water or vaporization of mineral. Prevention of progression of carious lesions can be achieved by using specific wavelengths and pulse durations for highly absorbed wavelengths. Current lasers can be used to ablate dental enamel and dentin. In the future more efficient lasers will ablate more effectively and also be able to treat enamel to prevent caries progression.

歯内療法におけるレーザー応用

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食機能保存学講座歯髄生物学分野

海老原 新

本年 4 月、レーザーによる窩洞形成が健康保険に適用された。1960 年に Maiman により初めてルビーレーザーが発振され、その後 1964 年に Goldman らによってレーザーの歯科への応用に関する初めての論文が発表された。それから 40 年以上の歳月を経てついにレーザーによる硬組織切削が健康保険に導入されたことは、レーザーの歯科への応用の研究に携わる者の一人として誠に喜ばしいかぎりである。

当分野においては、1985 年頃よりさまざまなレーザーを用いて歯内療法への応用に関する検討を行ってきた。レーザーの硬組織への応用は当初その組織の発熱、炭化等の問題のため臨床応用は困難であった。そのため軟組織への応用を試みる研究が中心であった。すなわち、象牙質窩洞や断髄面・露髄面へのレーザー照射による歯髄反応、根管内レーザー照射による根管消毒あるいはレーザードップラー血流測定による歯髄生活性試験等である。Er:YAG レーザーに関しては、プロトタイプ装置を用いて *in vivo* で歯質切削時の歯髄への影響を検討したことに始まる。その基礎的研究の後に臨床治験を経て Er:YAG レーザーは認可を受け、臨床で使用されるにいたっている。Er:YAG レーザーの誕生とともに、歯内療法へのレーザー応用の可能性が大きく拓けてきたといえよう。しかしながら、これはまだレーザーの歯科臨床への応用の入り口にすぎない。Er:YAG レーザーはさまざまなタイプのコンタクトチップが開発されており、根管内のレーザー照射も可能である。現在、当分野では Er:YAG レーザーの歯内療法への応用に関する研究を推進しているところである。

他方、歯内療法の臨床はここ 10 年間で micro-endodontics や endodontic micro surgery といった顕微鏡使用下の歯内療法が大きな変化をもたらした。かつて盲目的な処置の多かった歯内療法が、明視野下でのより細かい処置が要求されるようになってきている。さらに歯質切削への超音波の使用、ニッケルチタンファイルによる機械的根管形成等が行われるようになってきた。当分野ではレーザーがこれらの新しい技術と併用されるあるいは代替となりうるかについての検討を行っており、レーザーを用いることにより繊細な処置が可能となると考えている。このことは近年の minimal intervention の流れにも合致するものであろう。

本講演においては当分野において行われてきた研究について触れるとともに、Er:YAG レーザーを中心としたレーザーの歯内療法への応用の現状と今後の可能性について考察したい。今後、レーザーが広く歯科臨床に取り入れられていくものと確信している。

Fluorescence-Guided Er: YAG Laser Compared to Mechanical Scaling in the Treatment of Chronic Periodontitis

Senior Lecturer in the Department of Oral Sciences at the University of Otago

Jonathan Wade Leichter

Background

The aim of this clinical study is to compare the outcomes of two different methods of non-surgical therapy for treatment of moderate to advanced chronic periodontitis. The two different methods are (1) fluorescence-guided Er: YAG laser (ERL) and (2) mechanical scaling and root planing (SRP) using an ultrasonic scaler and hand instruments. The outcomes of treatment will be assessed by examining both clinical parameters and by evaluating patient perception of treatment.

Methods

Twenty-five patients participated in this spit-mouth, blinded study. Using randomisation, two quadrants from each participant were selected for treatment with ERL using 160 mJ/pulse at 10 Hz (test group; the other two quadrants were treated with an ultrasonic scaler and hand instruments (control group). Clinical parameters, including plaque index (PII), probing depth (PD), clinical attachment level (CAL), bleeding on probing (BOP), at 6 sites per tooth, were recorded at baseline, 6 weeks and 12 weeks following treatment by a blinded and calibrated clinician. Patient perceptions of pain and treatment satisfaction were collected during treatment and at 24 hours and 1 week post-treatment. Request for local anaesthesia, and length of treatment time were also recorded.

Results

SPSS analysis will be conducted to detect statistically significant differences in (PII), (PD), (CAL) and (BOP) between the test and control quadrants at baseline and between test and control quadrants at 6 weeks and 12 weeks post-treatment relative to each other and to baseline. A comparison of the patient's experience after test and control treatments will be analysed using the Verbal analogue scores (VAS) and Verbal rating scores (VRS).

Conclusions

The analysis will provide insight into the clinical efficacy of Er: YAG lasers in periodontal treatment as compared to the gold standard of hand and ultra-sonic scaling and root planing. Clinical outcomes and patient's perception of treatment in moderate to deep pockets will guide us as to which treatment strategy is appropriate for our patients.

歯科保存治療専門医に必要な歯周基本治療のテクニック

日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座

沼部 幸博

歯科保存治療専門医取得のためには、ケースプレゼンテーションを含む臨床面接試験に合格する必要がある。これはあらかじめ申請者によって提出された症例から、認定委員会が選定した3症例を発表した後、試験委員によって質疑、応答を行うものである。新制度では、提出症例の内容は、修復、歯内、歯周の3症例とし、そのなかの歯周の症例は、全顎の歯周基本治療を行った3症例で、各症例は少なくとも6カ月以上の経過観察あるいはメンテナンスを行ったものとされている。ここで修復、歯内、歯周の症例は同一口腔内でも可とされているので、最低3名の患者の症例を呈示すれば良いことになる。

よって、申請者には3名の患者において歯周基本治療が終了している症例呈示が必須条件となることから、全員に的確な歯周基本治療に関する知識と、テクニックを身につけていることが求められる。

歯周基本治療の目的はその原因の除去であり、プラークコントロールやスケーリング、ルートプレーニング、また咬合の問題に対する対応などが含まれる。

これらについては、教科書に術式などが必ず掲載されているものであるが、臨床の現場で遭遇する事例はいうまでもなく千差万別で、その成功には技術だけでなく、臨床経験や豊富な知識を伴うことで初めて補われる部分も多い。

プラークコントロールの達成目標はPCRが20%未満であるが、この値を達成するためには、患者の努力、使用器具の性能、歯科医師および歯科衛生士の的確な指導が必要となる。これらをどのように有機的に繋げてゆくかが目標達成のポイントとなる。

スケーリング、ルートプレーニングは、歯石の付着状況の的確な診査から始まり、その技能および処置部位に対する治療限界に関する知識の有無が重要となる。さらに、再度の処置の適応の有無、薬物療法の併用効果などについての知識も必要となる。

咬合調整に関しては、咬合診査の能力、咬合性外傷に対する考え方、術式、治療効果の検査能力などが求められる。

メンテナンスやSPTに移行した後も、再発予防や再発の早期発見に関する技術や、初診時の病態や治療に対するレスポンスの違いなどを考慮した、リコール計画の立案能力が必要である。

これらの総合的な力が、歯周基本治療を成功に導き、長期間の快適な予後を提供する源になる。

本研修会では、これからの申請者に対しては臨床面接試験における症例発表の方法と、そのために必要な歯周基本治療の重要なポイントとテクニック、専門医を取得した者に対しては、その知識とテクニックの再確認と、次のステップである歯周外科手術への的確に移行するためのポイントについて解説する。